



新学長 就任メッセージ

ピンチをチャンスに

東京医科歯科大学

学長 田中 雄二郎

皆さん、こんにちは。2020年4月1日より、学長に就任しました田中 雄二郎です。どうぞ、よろしくお願いします。

新型コロナウイルスの感染拡大で、さまざまな行事が中止になり、気持ちも暗くなりがちだと思います。

いつになったら新学期が始まるのだろうかと不安に思う学生、教職員も多いと思います。しかし、そういう状況でも桜は美しい花を咲かせ、それを見て皆さんも心が和んだと思います。

ピンチはチャンスと言いますが、混乱の中にも咲き誇った桜の花のように改革の兆しが現れています。

つまり、e-ラーニングやテレワークを積極的に導入する、無駄な手順を省き効率化を図るなどは、改革を実現する絶好のチャンスと私は捉えています。

皆さんと力を合わせてピンチをチャンスに変えて、医科歯科ならではのトータル・ヘルス・ケアの姿を教育・研究・診療を通じて社会に発信していきましょう。

ところで、私の趣味はクラシック音楽を聞くことです。オーケストラは、指揮者が示す大枠の中で、プレイヤーがお互いの音を聞きあい、それぞれが持ち味を出して、共同で良い音楽を奏でていくことが理想だと聞いています。

大学も同じだと思います。

教育は学生を中心に、研究は「学問の自由」を中心に、そして診療は患者・家族を中心に、という大原則の下、学生、教職員が、お互いを尊重しつつ、自分の持ち味を発揮して、大学の理念である「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」を実現していきましょう。

重ねてご協力を、宜しくお願いします。

知と癒しの匠®を創造し人々の幸福に貢献する



国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY